

(1)教育理念・目標・育成人材像など

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
教育理念	教育理念・教育目標が定められ、教職員、学生、学校関係者に浸透している。	理念や特色が理解しきれていない部分がある。 業界のニーズと方向性を的確につかむ努力が必要である。	3	ほぼ適切 学生の挨拶は向上している。 行動は注意すべき必要があるように思う。 新しい理事体制になったのだから新しいビジョンが有りそうだ。 学生たちが思い切り楽しみながら能動的に学習できるように工夫を重ねてほしい。
学校の特色	職業教育の特色について、教職員、学生、学校関係者に浸透している。	学校の特色について「フレンドリーな学校」として勧めているのはわかるが、学生との関係がどこまでフレンドリーでいいのかわかりづらいし、学校関係者に学校の特色が理解していただけていない部分もある。 学校関係者には学生との接し方、もっときちんとした指導など説明できるよう考える必要がある。		
育成人材像	育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられている。	教育理念についてはLHRを活用しているが学生にはなかなか浸透しづらいようだ。 育成人材像について、業界のニーズを学科でもう少し話し合う必要がある。 教育理念は理解しにくいところがある。 挨拶やマナーなど少しずつではあるが方向づけられている。		
学校関係者評価を受けての改善対策			総評	
	長期休暇後の朝の挨拶運動を続けている 職員室の出入りの際の挨拶・用件の伝え方などの指導している。 授業の始まりと終わりの挨拶を徹底させる。 挨拶運動は、自分から挨拶するところはまではできていない学生もいる。今後も続けていく。また長期休暇後の学生の様子も注意していく。新しいビジョンについて、方向性は間違っていないので、現状を見ながら新しいものも進めていく。		教育理念については、わかりやすく普遍的なものにするとよいのではないか。	

(2)学校運営

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
年間事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されている。	整備されている。 運営組織について、整いつつあると思うがまだ不完全である。例えば職員研修の対象となる会合に参加する場合、委員会を通したものの、理事長からの直接指名、など一定しておらず、まだ申請・報告の書類についても知らせていなかった。 台風や天候の急変などで交通機関がマヒした場合などの決定機能をもう一度見直したい。	3	ほぼ適切 行事はもっと学生が主体となって行えるようにならないか。 少し先の道を明るくすることで、次の一歩が踏み出しやすくなると思う。 3年後など年月を決めての長期計画も必要かと思われる。
運営組織	運営組織や意思決定機能が明確化され、意思決定システムが整備されている。	専任教職員の担当業務について、仕事の量が違いすぎる。教職、事務問わず見直した方が良い。 就業規則に関して評価の基準がわからない。		
就業規則	人事・給与などに関する規程は整備されている。	職員の有給休暇について現実として消化しきれていない。 少子化などにより、学校運営の(将来)長期展望を見据えなければならない。		
学校関係者評価を受けての改善対策			総評	
	本校は1年制と2年制の学科で編成されているため、行事など学生主体で進めることが難しい部分もある。学園祭は学生実行委員を決め開催している。 学生の活躍や受賞については、受賞作品を銀行等に展示したり、出身校に受賞報告をしている。 就業規則は学則の細則にあり、新入職員が入った時は必ず渡している。再度職員に配布する。		年間事業計画については、コンクール等学校の進め方、指導方法を明確化し周知すること。 コンクールでの受賞など先輩の活躍に憧れて入学してくる学校にする。 就業規則については、再度文書化されたものを提示する。	

## (3)教育活動

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
カリキュラムの編成	授業計画(シラバス)を作成し、学科の各科目はカリキュラムの中で適正に位置付けされている。	先生方がしっかり学生に向き合っていると思う。 スーツの着こなしなど授業にとりいれてよいと思う。 コンクールに出品して受賞させることも自信につながってよいが、就職後本当に必要な基礎技術をもっと授業に取り入れた方がよい。特に製菓衛生師科は1年しかないうちの半年をマジパンに使用するのはどうかと思う。卒業生からもフルーツカットなど習いたかったという意見もある。 授業評価体制が明確化されていない。	4	適切 先生方の行動力が強く思われる。
授業評価体制	授業評価の実施、評価体制がある。			
教員の確保	人材育成目標達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保している。			
職員研修	教員の資質向上のため、研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援している			
キャリア教育	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法が実施されている。			
企業との連携	関連分野への学外実習(インターンシップ)、企業と連携した実技実習が体系的に位置付けられている。			
学校関係者評価を受けての改善対策			総評	
<p>平成28年度製菓デモ実習実績と平成29年度の予定について 教育課程編成委員会において製菓デモ実習はより多くの外部講師に依頼して、年間5回以上実施することを決定した。ガトーだけではなく、デセルや和菓子・パンのデモ実習、コンテスト参加、さらに販売やマナーの資格についての知識の習得を目指す。 平成29年度 企業説明会および就職のための講座 ブライダルやホテルなど学生単独では見学依頼が難しい企業については就職活動の一環として団体で訪問した。また県外の企業や全国に事業所を持つ企業には、出張企業説明会実施を依頼。 その他「家計管理と生活設計」「社会人としてのスーツの着こなしとマナー」などの講座を開催した。</p> <p>平成28年度職員研修の実績と平成29年度の予定 職員の実務や指導力等の向上を図る目的で、平成28年度は13回、平成29年度は9月現在で9回、今後の計画として前年度と同程度の実施を予定している。</p> <p>職員研修について 今後、職員研修については原則として研修委員会を通すことにする。</p>			<p>適切 教職員はそれぞれ実習や企業説明会、研修など大変忙しく教育に携わっていることがよくわかる。</p>	

## (4)教育成果

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
資格取得率の向上	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にし、資格取得のための支援がなされ、合格率の向上が図られている。	受験対策がしっかり実施されている。	4	資格取得率 就職率は良くなっていると思う。
就職率の向上	専門分野と関連する業界等の求人情報や学生の就職活動を把握し、就職率の向上が図られている。	製菓衛生師100%合格を目指し、しっかりとした教育体制と講師の充実がなされている。		
技術力の向上	基礎技術力を確実に身に付け、さらにコンクール出品を目指す学生への指導がなされている。	就職率の向上が図られている。		
学校関係者評価を受けての改善対策			総評	
<p>平成29年度製菓衛生師国家試験合格への取り組み 昨年より福井県試験を取り入れ受験の機会を増やすことで合格率のアップを図った。 今年にはさらに、小テストを実施し、合格点に満たなかった学生には放課後補講、また本試験前に模擬テストを実施し、こちらも合格点に満たなかった学生には放課後補講を実施することで全員合格を目指した。 今年度、福井県試験者25名中24名合格、既卒者は全員合格という結果になった。不合格者1名は石川県試験を受験、全員合格を目指す。 平成29年度 コンクール・コンテストへの取り組み マジパンサークルの部活動により放課後個別指導で技術向上を目指すことができている。石川県洋菓子技術コンテスト出品前に校内コンクールを実施し一度作品を仕上げることで、完成度の高い作品を出品することができた。会長賞は逃したが金銀銅賞を受賞、中でも1年生が2名銅賞を受賞したことは素晴らしい。その他、珠洲まるかじりスイーツコンテストで商品開発のレシピを考案することでオリジナリティを養った。 就職率については、求人倍率が高いがミスマッチも多いのが現実。県内外の企業へのアプローチ、特に県外企業への就職支援をもっと実現できるようにする。</p>			<p>資格試験の合格率は、外部に出るものであり、それが低いと致命傷であるという意見を3年前にしており、その評価に対してしっかりと改善されている。</p>	

## (5) 学生支援

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
進路支援体制	進路指導に関する体制が整備され、有効に機能している。	個別指導、懇談、健康管理など体制は取れているように見受けられるがケアの方はなかなか進まない。 学生からの心身の相談ができるような窓口を整備する必要がある。 卒業生もよく学校を訪問してくる。 学生・担任・就職指導で連携が取れていると思うが、学生が家庭で話している本音や内容が把握できない。保護者へのコンタクトも大切であり慎重に行う必要がある。	4	学生の健康管理が充分とは思えない。 卒業生の評価が対外的学校評価につながるため、より一層努力してほしい。
個別指導・懇談	必要に応じて、学生の個別指導や相談ができる体制は整備されている。			
経済的支援体制	学生に対する経済的な支援体制は整備されている。			
健康管理	健康診断、心のケアなど学生の心身の健康管理を担う組織体制がある。			
家庭との連携	生活指導、進路指導などで、保護者と適切な連携がとられている。			
卒業生への支援	卒業後のキャリアアップ、再就職、進路変更などのための支援ができています。			
学校関係者評価を受けての改善対策			総評	
	三者面談を通じて、学校生活や出欠状況などとともに保護者を交えて進路について相談することで、学生本人の就職への意識が強くなっている。 卒業生の再就職支援については、最近のSNSなどを上手に使うことで卒業後もフォローアップできつつある。 また卒業生の中には、夢をかなえて独立開業する方が徐々に出てきているので、開店のお祝いをしたりブログやfacebookで紹介するなど支援している。 経済的支援については、学費減免制度や奨学金制度の利用、学費の分割納入なども個別に相談を受けている。		就職した企業を早期離職することについて、卒業してすぐの若いうちはまだ履歴が汚れることの重要性がよくわからない。在学中に進路指導でしっかり教えておいてほしい。 また仕事を辞める前に雇用主と話し合うことも大切であるということも指導してほしい。	

## (6) 教育環境

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
学習環境の整備	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。	一般的な防災設備は設置してある。 危機管理について定期的に確認が必要である。 防災について学生も含めた実地訓練ができないか。 緊急時の対応講習を受講させてもらったのは良かった。さらに防災訓練もすると良いと思う。	3	ほぼ適切 補修改善は昔に比べていろいろ行われているが、もっとしてもいいのではないか。 学生のニーズを調査してみてもどうか。 老朽化した建物は良く点検・補修をすべき。 照明器具はLEDに取り替えを検討。
危機管理	防災、安全管理に対する体制が整備されている。	オープンキャンパス用の水、無洗米、ポリ袋があり、あとカセットコンロとカセットボンベがあれば災害の備えができると説明をすれば、保護者や高校生への他校との差別化の一つになる。 器具や機器の老朽化が目立ち、それぞれメンテナンスが必要な時期にきているので故障する前に早急に措置しなくてはならない。 校舎の老朽化に伴う改善や補修整備などが必要な部分があり課題である。 設備についてもっと充実していてもいいと思う。設備は悪くないが、高校生が入学したいと思えるように改善されると良いと思う。		
学校関係者評価を受けての改善対策			総評	
	過去3年間の施設設備の補修工事の費用はかなり大きいものになっている。各担当の先生に補修が必要な箇所、または必要な器具を聞いて少しずつであるが取り揃えている。 実習室だけでもLEDに替えるための見積もりをとる。 消防計画、災害避難について今年避難場所や担当職員の変更があった。 O157などが問題になっているので、学外実習前の細菌検査を徹底する。 教職員救急法講習会を開催し、AEDの使い方などの講習を受け、緊急時の対処法や知識を習得した。		老朽化した設備について、取り替えをすると、消防法などでかなりの費用がかかるが、照明器具をLEDに取り替えるなど可能な部分から取り組んでほしい。 これから公民館の建て替えがあり、避難場所も増えるので、その都度避難経路も含め再確認が必要である。	

## (7) 学生の受入募集

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
募集活動	学生募集活動は適正に行われている。	職員が一丸となって募集活動に取り組んでいる。	4	適切 時代に適応した募集方法も検討したらいかがか。 入学してくる学生のレベルはどのようなものか。
入学選考	入学選考は、適性かつ公平な基準で行われている。	募集活動担当者は一生懸命していると思うが、業者開催の説明会などでのように説明しているのか聞きたい。 学生数が減少しているし、現にオープンキャンパス参加者も昨年一昨年に比べて減っている。		
学納金	学納金は妥当なものとなっている。	募集は適正に行われていると思うが、他の募集方法も考えてはどうか。OCへの参加率も低くなってきているのでWスペシャルの内容を考え直して特別感をもっと出すようにする。 年々入学希望者が減る中で、もっとアピールすべきで、宣伝は今まで以上に多くし、呼びかけと実習内容を検討すべき(例:高額なもの 種類を多く)		
	学校関係者評価を受けての改善対策			総評
	本校のHPからリンクされたブログやfacebook等で本校のイベントや授業内容、学生生活などを紹介し募集につなげている。憧れのお店が近くにないと、なかなかパティシエや調理師を将来の仕事に選ばないので、そういう高校へ地域限定での出張オープンキャンパスを企画している。			和菓子本校の特色のひとつであるので、ぜひ差別化を考えてアピールしてほしい。

## (8) 財務

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
財政基盤	中長期的に学校の財務基盤は安定している。	毎月、会計士が財務について適正か確認している。	4	適正
予算収支計画	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	財務に関して評価の基準がわからない。		
会計監査	財務について会計監査が適正に行われている。	中長期の展望が見えない。予算・収支計画が明確でないのでこれからの事業計画がみえない。		
財務情報公開	財務情報公開の体制整備はできている。	ほとんど会計士の仕事なので職員にはわからない。		
	学校関係者評価を受けての改善対策			総評
				毎月、会計士が財務について確認しているので適正である。

## (9) 法令等の遵守

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
コンプライアンス	各教育活動は、決められた法律に則ってなされている。	自己点検自己評価は実施しているが、意見や要望事項があまり反映されていない。 学校関係者評価は公開している。 自己点検自己評価を5段階評価にしてはどうか。	4	適切
設置基準	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。			
個人情報保護	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。			
自己点検自己評価	自己点検、自己評価の実施と問題点の改善を行っている。			
学校関係者評価公開	学校関係者評価委員による評価をHPで公開している。			
学校関係者評価を受けての改善対策			総評	
本校の学科は、衛生に関する分野なので、しっかりと法令を遵守している。				適切

## (10) 社会貢献・地域貢献

項目	設問	自己点検自己評価での改善課題	4段階評価	学校関係者評価
教育資源・施設の活用	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	学生ボランティアの依頼もあつたりするが、日程的に合わず参加できない。厚生労働省の指定時間数履修を重視するため参加は厳しい。 今後のグローバルな社会についていくには、学生にボランティアをさせることは必要ではないか。 今年近辺のゴミ回収のボランティアは行わなかった。 学生ボランティアについて、実施できそうなことを広げるために話し合う必要がある。 施設の活用については珠洲のコンテストをはじめ近隣の町内おやじの会などのイベントの交流を行っている。 幼稚園児や小学生のお菓子づくりなど地域貢献している。	4	ほぼ適切 学生ボランティアをどうすればよいか。
学生ボランティア	学生ボランティア活動を奨励、支援しているか。			
学校関係者評価を受けての改善対策			総評	
現在実施している社会貢献・地域貢献について ① 未来のバティエをめぐして親子でスイーツ作り (中央小学校育友会 おやじの会の依頼により平成27年より実施) ② 「ながどへい文化祭」でのロングロールケーキ作り (長土塀公民館より依頼があり平成26年より実施) ③ 園児のお弁当作り 和菓子作り(長町幼稚園の依頼)				近隣と協力しあいながら社会貢献していく。